



かわさき英彦

# 子ども達への 約束

討議資料

春日市議会議員

# かわさき 英彦 ひでひこ

経歴

1962年6月26日生 かに座 A型  
春日市立春日小学校卒、春日市立春日中学校卒  
福岡県立春日高等学校卒、東京造形大学デザイン学科卒  
1996年 デザイン事務所(有)ライトニック設立  
2012年 珈琲ショップ「森のルーチェ」開店  
2015年より春日市議会議員(1期)、総務文教委員  
福岡県立春日高校 同窓会会長

家族

妻・久美子、長男(30)、次男(26)、三男(24)、  
四男(23)、愛犬ベル(15)

春日市のこと、学校のこと、地域のこと、  
どんなことでも構いません。  
皆さまの声をお寄せください!

連絡先

かわさき英彦後援会  
春日市岡本4-6「森のルーチェ」2F  
TEL.092-581-8181  
FAX.092-583-7112  
[かわさき英彦(直通)]  
090-8915-8397  
[ホームページ]  
<http://khx.jp>



## 学校をもっと楽しく。

世間では、いじめや不登校など学校に関するニュースが今でも流れています。皆さんのクラスではどうですか？不登校の原因は、一人ひとり違います。大事なことは、何か悩んでいる生徒がすぐ誰かに相談できる環境を、大人の私たちがつくることです。それが学校なのか、地域コミュニティなのか、友だち、家族なのか。それぞれ個性の違う生徒たち一人



ひとりに向き合える環境を、大人である私たちが作っていかなくてはなりません。学校に行きたくない生徒や、学校に行きたいけど行けない生徒の気持ちに向き合い、寄り添うことがもっと必要です。また、生徒同士がお互いに相談しあえるようなきっかけを作っていくことも大切だと思います。学校では、授業で学ぶ知識や技術も大切ですが、大好きな友達や先生とのコミュニケーションを楽しみながら学べる学校って行きたいですね。そんな一人ひとりが楽しんで学べる“子どもたちのための”学校をつくっていきます。

かわさき英彦の約束①

# 子育てに安心を。

皆さんが赤ちゃんで生まれて大きくなるまで、お父さんやお母さんは一生懸命働いています。皆さんを育てるために朝から夜まで働いています。お父さんやお母さんが働いている間、赤ちゃんのお世話は誰がするのでしょうか。昔の日本では、お父さんが仕事をして、お母さんが子育てをすることが一般的でしたが、いまは女性も仕事をして社会で活躍するのが当たり前の時代になりました。そう

すると誰が赤ちゃんや子どものお世話をするのでしょうか。実は私たちが住んでいる市が責任をもって育てることが法律で決まっています。保育を必要としている全ての赤ちゃんや子どもを保育園に預けることで安心できる子育てがスタートします。誰もが安心して子育てできる環境をつくれます。



# いつまでも 元気な暮らし。

すくすくと育った赤ちゃんが、学校で楽しく学ばば、思いやりにあふれた大人に育ちます。多くの人とのコミュニケーションで新しいアイデアが浮かび、みんなが幸せになる社会の仕組みをつくることができます。対立よりも対話、競争よりも共生、意見の違いや多様性を認め合い話しあってつくる社会は、皆さんが納得する幸せの社会です。そしてそれは障がい者や高齢者に

とっても優しい暮らしになります。有名なアメリカのハーバード大学75年にわたる研究では、「幸せな人生は良好なコミュニケーションで作られる。」と報告されています。皆さんが想像する幸せな社会はどんな社会ですか。いつまでも元気に暮らせるまちを春日市で実現します。

